

# 平成28年度 事業計画

社会福祉法人日本原荘

## 1. 概 要

介護保険制度は事業量を年々拡大させながら17年が経過し、今年度は第6期介護保険事業計画の中間年に入る。

昨年度の制度改正、報酬改定により介護報酬ダウンの中で厳しい状況下だが、事業継続に必要な収入を得るため利用稼働率を確保し、支出では固定費の削減を基本線としながら、介護サービスの質の向上に努め自立支援介護を実践することで、全職員が自信と遣り甲斐を持ち、利用者の皆様から信頼される笑顔のある介護を提供していく。

本年度は社会福祉法人制度の改革が予定されているところであり、事業運営の透明性の向上、経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化を図りながら、高齢者の生活支援、介護予防や地域支援事業など地域での公益的な活動を展開しながら、生活困窮者や低所得者を対象とする事業にも取り組んでいく。

また、創立50周年を翌年に迎えるにあたり、当法人の高齢者介護の50年の歴史を次世代に引き継ぐためにも、「50年の歩み」を発刊できるように準備を進めるとともに、老朽化した各施設や設備の改修に着手する予定である。

## 2. 事 業 経 営

### [第1 日本原荘]

- (1) 適切な接遇の実践
- (2) 自立支援に向けた取組の継続と、利用者一人ひとりあった個別ケアの実践
- (3) 利用者・家族の意向を充分取り入れ、各職種間の連携と情報の共有による利用者一人ひとりに合った介護サービスの実施
- (4) 利用者の身体機能が維持・向上できるよう適切な個別機能訓練計画を策定し、利用者の1日が有意義なものにできるよう援助
- (5) 医療関係機関との連携をとり重度化への対応、また、看護・介護が共同して尊厳ある安らかな終末期に向けての支援、グリーフケアの実施
- (6) 身体拘束ゼロを継続するとともに、利用者の尊厳を守るため拘束解除に向けた検討の実施
- (7) 利用者の安全確保、地域の方々にも信頼され安心して頂ける施設づくり
- (8) 社会福祉法人の利用者負担軽減制度の推進

### [第2 日本原荘]

- (1) 身体機能の維持向上のためのこけないからだ講座の開催
- (2) サービス提供のケア記録による生活支援

- (3) 質の高い食事サービスの提供
- (4) 日曜日以外毎日の入浴実施と、感染症等の衛生面に配慮した入浴の提供
- (5) 入所者からの要望・生活援助に対応し、安心した生活が送れるよう支援
- (6) 急病など緊急時の職員間の連携を取りながら、万全な医療管理体制の整備
- (7) 心身機能の維持向上を目指した余暇活動の実施・地域交流の推進
- (8) 介護保険及び各種サービス利用の相談・支援

### [第3日本原荘]

- (1) 支援困難ケースの積極的な受け入れ
- (2) 個別ケア・科学的根拠に基づく介護の実践と充実
- (3) 終末期ケアを提供できる体制づくり
- (4) 四季の移り変わりを感じていただく施設行事を計画
- (5) 栄養ケアマネジメントによる栄養面からの生活支援
- (6) 継続的健康管理による安定した生活支援
- (7) ハード面の全面改修計画を視野に入れたハード面の底上げと改革
- (8) 社会福祉法人の利用者負担軽減制度の実施

### [津山ナーシングホーム]

- (1) 法令を遵守した施設運営
- (2) 継続的で計画的な研修実施による資質向上、サービス向上
- (3) 在宅復帰及び在宅生活継続に対する支援の強化・充実
- (4) 利用者及び家族との信頼関係の構築
- (5) 施設利用定員の確保
- (6) 明るく働きやすい自己研鑽ができる職場環境づくり
- (7) 環境に配慮した施設経営
- (8) 地域に根ざした施設運営
- (9) 無料又は低額介護老人保健施設利用事業の実施

### [総合ケアサービスセンターかつた]

- (1) 地域密着型複合施設としての役割の遂行
- (2) 他職種の連携による本人家族の意向に沿ったサービスの提供
- (3) 多職種連携による利用者の重度化予防
- (4) 嘱託医との連携を取り、利用者の健康状態の把握と感染症予防
- (5) 職員研修・委員会での意見を言い合える職場の雰囲気作り
- (6) 家族への連絡を密にし、協力を得られる家族との関係づくり
- (7) 介護・相談援助・看護など技術目的とした定期的な職員研修の開催
- (8) 苦情受付時の迅速かつ丁寧な対応
- (9) 配食サービスによる「食」の自立支援事業の推進
- (10) 社会福祉法人の利用者負担軽減制度の実施

### 3. 在宅事業所部門

- (1) 通所事業においては、利用者や家族が住み慣れた地域で安心感を持って生活できるよう、きめ細やかなサービス、より専門性のあるサービスの提供に努めていく。また、疾病を抱え治療を継続されているご利用者も多く、緊急時の対応能力の向上も図りながら、デイサービスに対するご希望や要望などに応えるよう、家族や関係者との連携を図りながらサービスの提供を実施していく。平成29年度から始まる津山市の新総合事業の研修会へ積極的に参加し、当センターが地域福祉の拠点として積極的支援が展開できるよう準備を進めていく。
- (2) 訪問介護事業においては、一人ひとり利用者・家族と真摯に向き合い、地域や関係機関との連携を図り、多様化のご利用者のニーズに応えられるようヘルパー一人ひとりのスキルの向上に努め、満足いただける事業所を目指していく。平成29年度開始の市町村が行う総合事業の開始に向け、動向を注視し対応できるよう努める。
- (3) 居宅介護支援事業においては、「高齢者の尊厳の保持」「自立支援」を念頭におき、要支援者、及び要介護者ができるだけ住みなれた地域で生活して頂くために、介護保険サービスのみでなく、家族または他制度など地域における社会資源を最大限に活用し、関係各機関と調整・連携を図る。引き続き、公正中立な姿勢を保ち、困難事例の受入れを実施し、地域包括ケアシステムの確立を目指す。
- (4) 在宅介護支援事業においては、地域連携担当者による総合相談、生活支援サポーターとの協働による高齢者世帯の生活支援を実施するとともに、引き続き生活支援サポーター養成に努める。
- (5) 社会福祉法人の利用者負担軽減制度を実施する。

### 4. 地域福祉・貢献活動

- (1) 放課後児童健全育成事業の実施
- (2) 高校・専門学校等の介護実習生の受け入れ及びボランティア活動の受け入れ
- (3) 地域包括支援センターへの職員派遣
- (4) 各種協議会、委員会や専門学校への職員派遣
- (5) 低所得者の利用料減免、利用者負担軽減制度の実施
- (6) 介護福祉士実務者研修への講師派遣及び実技講習の開催
- (7) 独居高齢者、高齢世帯への配食サービスの実施
- (8) 在宅高齢者向けの総合相談窓口を設置して、勝北圏域内の高齢者のニーズ把握の実施
- (9) 生活支援サポーター養成講座の開催
- (10) 生活支援サポーターと協働して、独居高齢者や高齢世帯の安否確認、家事援助などの生活支援を実施

## 5. 本部会計の運営

平成28年度の元利償還金71,144千円については、介護報酬収入より充当する。

施設名	(割合)	28年度中償還額	28年度末元金残高
1. 日本原荘	63.0%	30,930千円	321,300千円
2. 津山ナーシング	27.3%	26,974千円	139,050千円
3. かつた	9.7%	13,240千円	49,332千円
合計	100%	71,144千円	509,682千円

## 5. 理事会・評議員会の開催

- 5月 平成27年度事業報告・収支決算（案）他について
- 8月 平成28年度収支補正予算（案）他
- 1月 平成28年度収支補正予算（案）他
- 3月 平成29年度事業計画・収支予算（案）役員改選について 他

## 6. 施設長会議・職員会議等の開催

- ・施設長会議 毎月1回開催 施設間の情報交換及び徹底事項等
- ・職員会議 毎月1回開催 施設長会議の伝達・外部研修の復命・徹底事項等
- ・法令遵守担当者会議 月1回開催 法令遵守マニュアルに沿った内容で実施
- ・衛生委員会 毎月1回開催 日本原荘・津山ナーシングホーム

## 年間研修日程

	荘内研修	外部講師研修等	県社協等外部研修
4月	新入職員研修 認知症・認知症ケア 腰痛予防研修	新入職員研修	接遇セミナー
5月	各施設で開催		生涯研修会（新任コース） 生涯研修会（中堅コース）
6月	事故防止・事故発生時 の対応 感染症・食中毒防止		社会福祉新人セミナー 施設ケア研究発表会
7月	各施設で開催	新入職員研修	認知症介護実践研修 生涯研修会（指導コース）
8月	プライバシー保護 倫理・法令遵守		給食施設管理者及び従事者 研修 中国老協施設研修大会
9月	各施設で開催		接遇リーダー研修 感染症対策研究会

10月	ターミナルケア	新入職員研修	生涯研修会（管理コース） 中国ブロックカンントリーミーティング
11月	各施設で開催		生活相談員研修 介護技術研修(基礎・発展) 中国老施協施設長研修会
12月	事故防止・事故発生時の対応 感染症・食中毒防止		社会福祉セミナー（リーダー） フォローアップセミナー
1月	各施設で開催	新入職員研修	感染症対策研修会
2月	身体拘束排除		社会福祉法人役員研修 岡山県老人福祉施設職員研究発表会
3月	各施設で開催 新入職員介護実習		

\*この他に、年間を通して介護力向上講習会に職員を派遣、津山圏域消防に依頼し応急手当に関する普通救命講習（心肺蘇生法の手順・AED使用手順ほか）・キャリア形成訪問事業派遣等自主勉強会も計画している。